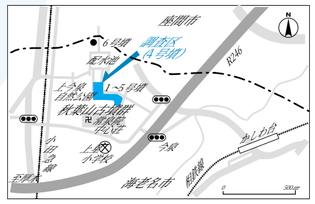
見直そう！郷土の文化財

「文化財」という言葉から、みなさんは何を連想しますか。古墳、史跡地、古い建築物や彫刻…。こうした文化財に、往古の雰囲気を求めて多くの人が訪れたり、市内の小学校で学習対象にされたり、夏休みには文化財関連のイベントも行われるなど、市内の文化財は今、私たちの身近にある歴史遺産として見直されつつあります。

現在調査しています　秋葉山古墳群

市では現在秋葉山古墳群の調査を実施しています。同古墳群は、今からおよそ1750年前の弥生時代から古墳時代への過渡期に造られました。東日本でも古い年代のものに属していて、特に3・4号墳は「古墳」（古墳時代のお墓）ではなく、「墳丘墓」（弥生時代に造られた、少し盛り上がった墓）と呼ばれることもあります。

調査は昭和63年度に始まり、平成5年度からは継続的に行っています。主な目的は、古墳の形や年代などを明らかにして、将来の保存や整備に役立てる基礎データを得るためです。今回、7月28日（月）から8月13日（水）まで行っている調査は、上今泉自然公園内にある4号墳が対象です。調査区は、2カ所設定していますが、深く掘った箇所もあるので、期間中は危険ですから近づかないでください。見学や概要を知りたいときは事前に文化財課に連絡するか、現場の担当者の指示に従ってください。



副葬品も眠る古墳

古墳とは、古墳時代（3世紀半ば～6世紀後半）に造られた、有力者のお墓のことです。土を盛り上げて墳丘を造り、その中の石室（せきしつ）という部屋に、権力者だった人の遺体を納めました。そばには、武器や宝石類などの副葬品も一緒に納められています。

弥生時代の墳丘墓

境丘墓は、古墳のように土を盛り上げて造りますが、規模はそれほど大きくなく、埋葬する部屋も小さなものです。当時の有力者の墓と考えられています。

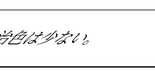
秋葉山古墳群―パンフレット配布中

市ではこのほど、秋葉山古墳群のパンフレットを発行しました。

これまでに確認調査が行われてきた第1号墳～第5号墳について、造られた年代や出土品、古墳群の概要などについて分かりやすくまとめています。

文化財課窓口ほか、温故館・文化会館などで配布しています。ぜひご一読ください。

弥生時代・古墳時代に造られた大規模な墓の違い

	弥生時代（紀元前3世ごろ～後3世紀後半）			古墳時代（3世紀後半～6世紀末）
名称	墳丘墓			古墳
	前方後円墳	前方後方墳	四隅突出墓（中国・山陰地方など）	前方後円墳が主流
主な形状	上から 横から	上から  横から		上から 横から
主な副葬品	鏡・宝石類など			武器、鏡、宝石類、馬具など
造られた背景	地域代表者の墓。政治色は少ない。			地域を治めていた有力者の墓。他地域への影響力を示すためなど、政治色が強い。

文化財ってなんだろう？

市内には国・県・市の指定文化財が29件あります（下表参照）。遺跡や樹木・建築物・踊りなど幅広いジャンルに分かれています。また、市内にはありませんが、歴史的なまち並み、景観なども広義の文化財といえます。つまり文化財とは、人間が永い歴史の中で創りあげた財産といえるでしょう。

文化財は先にも述べたような性格を併せ持つものですが、単に「古い」や「価値がある」だけではなく、それが　①私たちの暮らしや郷土の歴史に、どんな影響を与えたか　②時代や風俗などを示す特徴を兼ね備えているか　③希少性があり、保存継承することで、次代への遺産となるか、などの視点に立って考えることが大切です。

文化財は、市内にもたくさんあります。指定されているもの以外にも、身近にあるかもしれません。みなさんも、文化財を訪ねてみませんか。そして、遠い昔に思いを馳せ、どんな経過を経て今そこにあるのかを想像してみましょう。きっと過去だけではなく未来も見えて、今までとは一味違う「文化財」を体験できると思います。

指定文化財一覧

種別	名称	区分	所在地	指定年月日
遺跡	相模国分寺跡	国	国分南一丁目	T10.3.3
	相模国分寺尼寺跡	国	国分北二丁目	H9.4.3
	上浜田中世遺構群	県	浜田町5－13	S56.2.10
	瓢箪塚古墳	市	国分南三丁目1055番地	H10.8.28
樹木	海老名のケヤキ	県	国分南一丁目23	S29.3.30
	有馬のハルニレ	県	本郷3881番地	S29.7.29
	椿地蔵のツバキ	市	杉久保2621番地2	H10.8.28
建築物	龍峰寺・観音堂(旧清水寺)	市	国分北二丁目13－40	S50.3.19
	龍峰寺・仁王門(旧清水寺)	市	同上	同上
	海源寺・鐘楼門	市	中新田533番地	H6.10.20
	有鹿神社・本殿（一間社流造、柿葺）	市	上郷一丁目4－41	H4.10.1
	八坂神社・本殿	市	勝瀬9番1号	H10.8.28
	渋谷神社・本殿	市	門沢橋2166番地	H15.4.30
有形文化財	国分寺・銅鐘	国	国分南一丁目25－38	T12.8.4
	龍峰寺・千手観音立像	国	国分北二丁目13－40	T14.4.24
	正覚寺・十一面観世音菩薩像	市	門沢橋2183番地	S49.4.23
	本覚寺・大日如来座像	市	本郷4618番地	S52.10.12
	東林寺・大日如来座像	市	今里214番地	同上
	寿閑寺・脇侍二菩薩像（普賢、文殊）	市	本郷3453番地	同上
	龍峰寺・仁王像	市	国分北二丁目13－40	S50.3.19
	海源寺・大鳥豊後守正時座像	市	中新田533番地	S49.4.23
	豊受大神・絵馬3点	市	杉久保1844番地	同上
	龍峰寺・絵馬(歌川国経)	市	国分北二丁目13－40	S52.10.12
	有鹿神社拝殿天井龍の絵図（藤原隆秀筆）	市	上郷一丁目4－41	H4.10.1
	常念寺（現在廃寺）・石造豊篋印塔・石灯籠	市	本郷3067番地	H5.4.1
無形文化財	大谷芸能保存会(素人歌舞伎)	市		S50.3.19
	ささら踊り	市		H10.8.28
	国分囃子保存会	教		S52.10.12
	柏ケ谷囃子保存会	教		同上
郷土芸能文化奨励団体―相州海老名東柏太鼓				H12.12.12認定

※T…大正、S…昭和、H…平成

中新田小6年

市内の史跡を巡り　ガイドブック作成

「総合的な学習の時間」で

中新田小学校6年生の児童（2クラス、80人）は、総合的な学習の時間の一環として、1学期に郷土かるたを使った学習を行いました。内容は、5、6人のグループに分かれて、延べ2日間市内の史跡を巡り、ガイドブックを作成するもの。6月に行われた史跡めぐりでは、龍峰寺（国分北）を訪れたグループは千手観音菩薩立像（国指定重要文化財）や本堂などを、また正覚寺（門沢橋）を訪れたグループは、市指定重要文化財の「十一面観世音菩薩像」などを拝観しました。子どもたちは「とても古いものが、キラキラしている。きれいなままで見られたのが良かった。私たちも、（文化財を）大切にしていかなければいけないと思いました」（吉良千帆さん）、「海老名にはこんなにたくさんの史跡や文化財があることを初めて知りました。これを機会にもっと歩いてみたくなりました」（秦千晃さんなど）と話していました。

金色の十一面観世音菩薩に感動

千手観音を見学

7月には編集作業を行い、9月末ごろ、オリジナルの郷土ガイドブックが完成する予定。写真を使って見どころポイントを説明したり、満足度を点数で表したりと、ユニークなものに仕上がりそうです。完成品は、2学期から学校の図書室に置いて活用するそうです。

担当の藤井先生は「実際に歩いて地域を知り、歴史あるものにふれることが、情操教育にも役立つと思い取り組みました。私自身もとても勉強になりました。大人の方にもおすすめです。十分楽しめると思いますよ」と話しています。

今月から調査開始　相模国分寺講堂跡

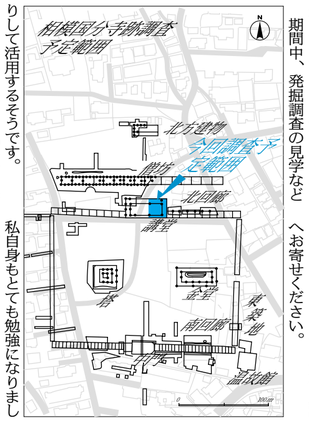
整備活用の資料に

相模国分寺跡は、聖武天皇の詔（みことのり）によって、今から1250年ほど前に建てられた寺の跡です。調査は昭和40年から断続的に行われ、全国の国分寺でも大変珍しい、塔と金堂が東西に並ぶ「法隆寺式伽藍（がらん）配置」であることなどが確認されるなど、当時の様相が明らかになりつつあります。今回の調査では、市道7号線に面した講堂跡の調査を実施します。これは国分寺跡整備計画の一環として、講堂跡の規模、構造を明らかにして、将来の整備に役立てるものです（調査の範囲は左図参照）。

調査期間中は、みなさんにご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。また、調査区は一部深いところもあり危険ですので、近づかないようご注意ください。期間中、発掘調査の見学などを希望する方は、文化財課に連絡するか、現場担当者の指示に従ってください。

▽調査期間（予定）　8月18日（月）～9月5日（金）

なお教育委員会では、これからの相模国分寺跡の整備・活用について、計画をつくって進めていきます。みなさんの意見や要望を取り入れて、歴史学習のためだけでなく、憩いの場としても多くの人が利用できる公園として、整備していきたいと考えています。お気づきの点などがありましたら、ぜひ文化財課へお寄せください。



バスツアーとまが玉作り教室

夏休みもいよいよ後半。市ではこの夏、みなさんに歴史・文化財をもっと身近に感じていただこうと、イベントを準備しています。夏の思い出作りにぜひ参加してみてください。

◎夏休み史跡文化財めぐり

市内の文化財を、ゆったりと見学するバスツアーです。ご家族やお友達でご参加ください。

▷日時　8月21日（木）午前9時集合～午後3時30分（予定）▷対象・定員　市内在住の方・先着40人（小学校2年生以下のお子さんは保護者同伴で）▷コース　市役所発→寿閑寺→有馬のハルニレ（本郷）→豊受大神→大谷観音堂→海源寺→市役所（昼食）→龍峰寺→国分尼寺跡→収蔵庫（国分北）→国分寺跡→温故館→大ケヤキ・国分寺→市役所着（解散）▷交通手段　市のバスと徒歩▷持ち物　昼食・飲み物・タオル・帽子などの日除け具▷費用　無料。

全ての問い合わせ
文化財課（内683）

◎夏休み歴史教室「まが玉」

市内に点在する古墳や集落跡からは、当時の有力者が首飾りにしていたといわれる「まが玉」が出土しています。市では、「夏休み歴史教室・まが玉作り」を開催します。実際に遺跡から出土したまが玉を観察しながら、昔の職人のようにまが玉を作ってみませんか。

▷日時　8月20日（水）①午前10時～正午、②午後2時～4時▷会場　市役所702会議室▷対象・定員　市内在住の小学生（3年生以下のお子さんは保護者同伴で）、各回先着40人▷持ち物　タオル▷費用　無料。

申　バスツアー・まが玉作り教室とも、8月1日（金）～19日（火）に電話または直接文化財課へ。受付は平日の午前8時30分～午後5時。

指定史跡と埋蔵文化財包蔵地　事前の許可・届出を

市内には現在、国・県・市指定の「史跡」が4カ所と、86カ所の「埋蔵文化財包蔵地」（一般に「遺跡」といわれている範囲）が確認されています。

「指定史跡」とは、歴史的に重要な遺跡のことで、法律によってその破壊や損傷を禁じられている区域のことです。この範囲内で工事などを行うときは、国の許可が必要です。遺跡を破壊しない軽微なものは許可されます。しかし、遺跡を破壊したり、許可なく工事などを進めたりした場合には、刑罰の対象になります。

「埋蔵文化財包蔵地」は地中に住居跡や土器などが分布している範囲のことです。範囲内で工事などを行うときは、着手の60日前までに届出をすることが必要です。また、工事の内容によっては発掘調査をお願いすることもあります（工事そのものを制限するものではありません）。

埋蔵文化財は、場所によって出土状況や内容が異なることから、発掘調査の必要性の有無などについて、包蔵地すべてに有効な、共通の基準がありません。工事や開発を範囲内で行うときは、必ず事前に文化財課にお問い合わせください。

なお、出土品は、歴史を解き明かす資料として、資料館での展示などに活用しています。

●秋のプラネタリウム教室

涼しいプラネタリウム室で秋の星座の探し方を覚え、ハッブル望遠鏡からの素敵な映像をご覧ください。

▽日時　8月26日（火）～29日（金）、9月1日（月）～5日（金）。投影開始は1回目＝午前10時、2回目＝午後2時。投影時間約45分（9月は2回目のみ投影）▽見学方法　希望者は当日投影開始の約15分前に教育センター4階ロビーへ。各回とも85人・先着順。入場無料。

問　同センター（☎233・7771）。

●消費生活視察研修（相模ハム本社工場見学）

相模ハム本社工場（藤沢市）を、市のバスで見学します。

▽日時　9月2日（火）午前9時～午後2時▽集合場所・時間　市役所1階ロビー・午前8時50分▽定員　10人（超えた場合は抽選）▽参加費　無料。

申　8月1日（金）～22日（金）の間、商工課（内511）へ。土・日曜日を除く。

問　同課。

●スポーツ関連2教室開催

【スポーツマッサージ教室】

体の基本的な構造を知り、けがの予防、日常やスポーツ後の疲労回復に役立つ教室です。

▽日時　8月30日・9月13日の各土曜日、午後2時30分～4時30分▽会場　海老名運動公園総合体育館多目的室▽対象・定員　市内在住在勤の方・30人▽持ち物　運動のできる服装・床に敷く大きめのバスタオル・汗拭き用タオル・着替え等。

【気功法教室】

気功法で体と心の両面を整え、腹式呼吸をしながら健康と体力の向上を図る教室です。

▽日時　9月6・13・20・27日・10月4日の各土曜日、午前10時～正午まで▽会場　海老名運動公園総合体育館多目的室▽対象・定員　市内在住在勤の方・30人▽持ち物　運動のできる服装・室内シューズ・タオル。

申　いずれの教室も、8月1日（金）から電話または直接総合体育館（☎235・7204＝火曜休館）へ。受付時間は午前8時50分～午後8時。定員になり次第締め切り。また、施設使用料として1回ごとに200円をご負担ください。

●有馬図書館　定例映画会と講座

【定例映画会】

▽日時　8月9日（土）　午前10時30分～11時▽上映映画「青い鳥」▽対象　幼児以上▽参加方法　当日直接有馬図書館多目的室へ。

【読み聞かせと語りのための講座　親子で楽しむ絵本～よい絵本の選び方について～】

▽日時　9月4・11・18日の各木曜日　午前10時～正午▽会場　有馬図書館多目的室▽対象・定員　市内在住在勤の方優先・先着20人（保育あり＝2歳以上）▽講師　浅木尚実氏＝元東京子ども図書館職員。現在保育士専門学校の講師として活躍中。

申　8月5日（火）から、電話または直接有馬図書館へ。受付時間は午前9時～午後4時50分。月曜休館。

問　いずれも同館（☎238・4646）。

●防ごう食中毒　キャンペーンも実施

食中毒菌は私たちの身の回りのあらゆる所に潜み、感染のすきをうかがっています。食中毒を防ぐには、

●とにかく手を洗いましょう

●食品は十分に加熱しましょう

●調理器具は清潔にしましょう。

【食中毒予防キャンペーン】

8月4日（月）～10日（日）の間、県下一斉に「食中毒予防週間」が実施されます。8日（金）午後2時からは、海老名中央公園（滝の川付近）で、神奈川県・厚木地区食品衛生協会海老名支部主催の食中毒予防キャンペーンが行われます。会場では、保健所による健康相談コーナーを開設するほか、答えれば記念品がもらえるクイズも実施（参加者全員に食品衛生グッズ進呈）。ぜひご来場を。

問　保健相談センター（☎235・7880）または厚木地区食品衛生協会事務局（☎222・7643）。

●健康セミナー（3日間1コース）

女性の中高年期は、心身共に不安定になりがちです。自分自身を見つめ直し、健やかな心と身体づくりについて一緒に考えてみませんか。

▽日時　9月2・9・16日の各火曜日、午後1時30分～3時30分（受付＝1時～1時30分）▽会場　保健相談センター▽対象・定員　おおむね30～50代の女性・30人▽内容　更年期の心と身体の変化とその対処法、アロマテラピー、尿失禁予防体操など▽講師　健康運動指導士、栄養士、保健師、臨床心理士など。

申　問　同センター（☎235・7880）。